

とにもあゆむ



- ◎えいじんクリニック 佐藤 陽 院長就任あいさつ
- ◎くらた病院 菅野 靖司 副院長就任あいさつ
- ◎くらた病院透析室リニューアル完成のお知らせ
- ◎くらた病院外来診療担当表

群馬県 尾瀬ヶ原

倉田会の基本理念

一、患者様と共に
患者様とともに、トータルケアを目標として歩みます。

一、地域と共に
地域とともに、保健事業（予防）・医業・介護福祉事業を展開し、地域の健康維持と健康増進を目標として歩みます。

一、関係者と共に
関係機関への情報提供や、セカンドオピニオンなど患者様への利益につながるよう努力して歩みます。

一、職員と共に
最良の医療・最良の介護を念頭に、患者様、ご利用者様の利益につながるよう検討し、最良のチームを目指して歩みます。



くらた病院透析室

リニューアル完成のお知らせ

くらた病院では、本年4月4日（月）より、透析室をリニューアル致しました。
工事期間中は、当院へのご来院並びに隣接施設ご利用者様始め地域の皆様には、何かとご不便をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。
ベッド22床から3床増床して、計25床にて稼働できる運びとなりました。
入院希望患者様が増加傾向にあり、そのニーズにお答えるべく計画して参りました。
更なる透析を必要とする患者様を積極的に受け入れて参ります。引き続き感染予防対策の徹底を図り、より一層、地域医療の担い手として責任を果たして参ります。
今後とも変わらぬ、ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

くらた病院 院長 北村 真



新透析室

2022年度 くらた病院 外来診療担当表

2022年7月1日現在

曜日	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
診療科	北村 真	倉田 康久	倉田 康久	阿部 郁一	阿部 郁一	北村 真	高山 聡	高山 聡	佐々木 雅英	佐々木 雅英	倉田 康久	
内科		折井 香			高山 聡				荒川 正一 第1週胃カメラ 高橋 裕 第3週胃カメラ			
糖尿病内科											第1・3・5週 斎藤 仁通 第2週 木村 守次 第4週 豊田 雅夫	
神経内科							吉井 文均 ※予約制					
乳腺外科										花村 徹 ※予約制		
整形外科		折井 香 (外科)	檜山 明彦 ※受付11:00	檜山 明彦 ※受付16:30	鈴木 謙二 ※受付11:00	鈴木 謙二 ※受付16:30	鈴木 謙二 ※受付11:00	鈴木 謙二 ※受付16:30	岡田 慶子 ※受付11:00	第1・3週 持田 謙治 ※受付16:30	第2・4週 小澤 康正 ※受付11:00	

【診療時間】

午前の部：9時00分～12時00分（受付8時30分より//診察券受付7時00分より）
午後の部：14時00分～17時30分（受付17時00分迄）

【休診日】

日曜日・祝祭日・土曜日午後
年末年始（12月30日～1月3日）

くらた病院

☎ 0463-53-1955

制 令和4年7月1日発行 (No.36/夏号)
作 医療法人財団倉田会 理念推進室
プロジェクトチーム とにもあゆむ～
〒254-0018
神奈川県平塚市東真土4-5-26
☎ 0463-53-1955 Fax 0463-53-1957
発行元 <http://www.kuratakai.or.jp>

【編集後記】とにもあゆむ…貴方には「信頼」できる身近な上司・同僚・後輩そして友と呼べる人は…信頼される人は、自らも相手を頼ります。
「頼り・頼られる」とは、人として出会いを大切にすることから始まります。互いを認め合い価値観を共感できる存在です。そして、安心して任せる、任せられる関係が信頼の証です。そこには、丸投げの自らの責任放棄は存在しません。地位や優位性に関係なく、本当の頼れる仲間・相棒と呼べる人が、一人でもいれば、共に悩み・考え・行動し、心の支えとして、とても心強いものです。
「なぜ、相談してくれなかったんだ」ではなく、自らを一度振り返る。
信頼を失う時は一瞬ですが、それを取戻すのは容易ではないことを…



倉田会に於いて、私に与えられた最初のミッションは、シャントPTAを立ち上げて、軌道に乗せることです。



くらた病院 菅野 靖司 副院長就任あいさつ

2022年6月1日より、くらた病院の副院長を拝命致しました、菅野靖司(すがの やすじ)と申します。

倉田会に来る前は、透析クリニックの管理に14年程携わっておりました。病院勤務は久しぶりとなりますので、諸先輩方のご指導の下、初心に戻り禱を締め直して取り組んでいく所存です。

不馴れで、ご迷惑をお掛けすることもありませんが、どうぞよろしくお願い致します。

シャントPTAとは、シャント血管の狭窄や閉塞部をバルーンカテーテルで拡張させ、血液透析に十分な血液量を確保するための治療です。私自身は、数千件のシャントPTA施行の経験があり、2つの関連する認定専門医資格を有しており、お役立てできればと考えております。しかしながら、シャントの管理・治療は、一人では出来るものではありません。治療前・治療後のフォローを含めて、患者様及びスタッフの協力無くしては不可能です。透析治療に於いて、シャントは無くてはならないものですので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

◆認定・資格

- 透析専門医・指導医 (日本透析医学会)
- 総合内科専門医 (日本内科学会)
- 認定内科医 (日本内科学会)
- 認定産科医 (日本医師会)
- 身体障害者福祉法第15条指定医 (腎臓機能障害)
- バスキュラーアクセス血管内治療認定医 (日本透析アクセス医学会)
- VAIVT認定専門医 (透析バスキュラーアクセスインベーション治療医学会)

くらた病院 副院長 菅野 靖司

えいじんクリニック 佐藤 陽 院長就任あいさつ

2022年4月1日より、えいじんクリニックの院長に就任致しました、佐藤陽(さとう あきら)と申します。



その間、透析医療に従事して参りました。学生時代は隣の伊勢原市に住んでいたこともあり、平塚市には、よく遊びに来ておりました。伊勢原を離れた後も、サッカー観戦や湘南平からの夜景を見に平塚を訪れておりました。

この度、縁あって、えいじんクリニック院長を拝命させて頂くことになり、改めてこの地域の方々に貢献できるような一生懸命働く所存です。

現在、日本の高齢化に伴い透析を受ける高齢者の割合は、年々増加傾向にあります。

高齢者の透析治療における課題として、心疾患や骨関節疾患等、複数の合併症や認知症を抱えるケースが多くみられます。

また加齢や食欲低下の影響で栄養状態が悪化しやすく、合併症の悪化等で入院することで活動性が低下し、筋力や認知機能の低下につながり、介護が必要な状態となるリスクが高まります。

透析治療はあくまで腎臓の機能を補い生命維持を図ることが、主な目的であります。透析治療を受けることで、生活の質を可能な限り維持し、病気のケアをしながら、いかに自分らしく生活をするかという視点で、治療に臨む必要があると、私は考えております。

そのため私は、自分の専門疾患だけを診るのではなく、患者さん個々の病態や置かれている社会的背景も十分に考慮し、最良かつ最適な治療を提供できるように心掛けようと考えております。

またそういった医療を提供するためには、医師を始め看護師や介護士、臨床工学技士、栄養士、更には事務等、多職種が、しっかり連携しチームで患者さんの診療にあたることが重要となります。良いチームの構築には、チーム間の意思疎通が取れていることが、非常に大切であり、私はスタッフとのコミュニケーションを日頃から大事にしようと考えております。

まだまだ若輩者ではありますが、当クリニックの職員と共に患者さんの生活に寄り添い、歩んでいけるよう精進して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

えいじんクリニック院長 佐藤 陽



透視治療はあくまで腎臓の機能を補い生命維持を図ることが、主な目的であり、透析治療を受けることで、生活の質を可能な限り維持し、病気のケアをしながら、いかに自分らしく生活をするかという視点で、治療に臨む必要があると、私は考えております。

◆認定・資格

- 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
- 日本腎臓学会専門医
- 身体障害者福祉法第15条指定医

